

保育おおさか

No. 488

平成 28 年 4 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

一人ひとりが活躍し 生きがいをもてる社会を実現

一億総活躍社会実現対話

3月12日、グランフロント大阪・

コングレコンベンションセンターで

「一億総活躍社会実現対話」(主催・

内閣官房一億総活躍推進室)が開催

されました。加藤勝信一億総活躍担

当大臣出席のもと、一億総活躍社会

の実現に向け、障がいをもちながら

働く方や、子育てをしながら起業を

した女性など、さまざまな立場の

方々との意見交換が行われました。

冒頭、加藤大臣から一億総活躍社

会が目指す社会環境について説明。

一億総活躍社会に向けて、若者も

高齢者も、女性も男性も、障がいの

ある方も国民一人ひとりが家庭で、

地域で、職場でそのもてる力を最大

限に発揮し、生きがいをもつことが

できる社会を目指すというものです。

現在、政府が一億総活躍社会の実

現のために推進している政策は「三

本の矢」です。

第一の矢は「希望を生み出す強い

経済」により企業の収益の拡大を目

指します。そこで生み出された経済

の好循環を子育て支援や、安心でき

る社会保障に分配をし、働く意欲が

ある方が働くことのできる社会を構

築することが第一の矢です。大臣は

「成長と分配の好循環を作ること」は、

今後の大きな課題である人口減少を

防ぐことにつながっていきます」と

説明しました。

第二の矢は、「夢を紡ぐ子育て支

援」。

多様な保育サービスの充実や待機

児童の改善のために50万人の保育の

受け皿の構築を目指します。「今後も

保育士の確保や処遇改善に取り組み、

子どもを産みたいという希望がかな

う社会を作ること、希望出生率1・

8を目指していきたい」と大臣は強

調しました。

第三の矢「安心につながる社会保

障」では、介護サービスの基盤の確

保や介護人材の確保、待遇改善など

により、介護離職ゼロを目指します。

そのあと、14人のさまざまな立場

の方が登壇され、意見を述べました。

保育施設からは茨木市のたんぼほ学

園・三角あい氏が登壇されました。三

角氏は「新制度になり、一定の処遇

改善はされているが、十分な状況に

は至っていない。人材確保、人材定

着のためにも今後も一層進めてほし

い」と意見を述べられました。また

「学生の皆さんにも保育に関わるこ

との素晴らしさや、やりがいを知っ

てもらいたい。私たちも積極的に発

信していきたい」と強調しました。

そのほか、子どもをもつ就職活動

中の女性からは「妊娠や出産を機に

退職した女性が再就職するためには

就職活動中から保育が必要。子ども

を預かってくれる保育施設をもつと

増やしてほしい」。

子育てをしながら短時間勤務で働

く女性からは「育児と仕事を両立す

るためには、多様な勤務形態の充実

が必要。共働きが多くなっている今

女性が働きつづけることができるよ

うに社会の仕組みとしてのサポート

をしてほしい」。

介護施設で働く女性からは「介護

施設の利用者の介護認定が下がる

と介護報酬も下がってしまう。頑張

て働けば働くほど介護報酬が下がる

ことに矛盾を感じる」と、施設運営

への圧迫が処遇改善の妨げになっ

ている状況を訴えました。

最後に大臣から「大変貴重な意見

を聞くことができました。今回の皆

さんの意見を取り入れて、ニッポン

一億総活躍プランを作っていきたい

と思っています」と結ばれました。

(事務局)



色とりどりの
花が咲き競う春
がやって来ました。
競うといえは
先日、久しぶり
にお会いした保
護者の方に、十

数年前に巣立った卒園児が大
学・高校受験に挑むとお聞きし
ました。本人たちの努力はもち
ろん、親として何をしてあげら
れるのか悩んだそうです。頑
張っているのに「頑張りや！」と
声をかけるのも憚られる。今、で
きることは、不安な気持ちを受
け止め、頑張りを認め、少しで
も支えになってあげること、私
にもいつかそんな時が来るのか
など、ふと思ってしまうました。

ドキドキしながらの合格発
表は、見事桜咲く！で合格。そ
の時、子どもが親に伝えた言葉
は「家族の協力のおかげで合格
できました。ありがとうござい
ました」だそうです。親から子
どもへ。子どもから親へ。ひし
ひしと愛情や親子の絆を感じ
ました。

4月から、学校や職場での新
しい出会いがあると思いますが、
人と人との関わりを大切にし、
常に愛情と感謝の気持ちをもっ
て、新年度をスタートしたいと
思います。(編集委員M・Y)

多くの法人が連携した

セーフティネット構築に関心

2月16日、群馬県保育協議会の役員など13人が、大阪府で取り組む「大阪しあわせネットワーク」「スマイルサポーター」の取り組みを視察されました。

県協議会では「事務局研修会」として、年に1回、県外の保育組織を訪ね、先進的な取り組みを行っている地域の視察を行われている。当会からは正副会長、地域貢献事業推進委員、あわせて16人が参加しました。

はじめに県協議会・事務局長の糸井崇氏から毎月1



大阪の特徴のある事業に興味

回、機関紙「保育ぐんま」を

発行しており、発行号数は700号を超えていること。

また、保育現場への就職を目指す方々を対象に、採用情報の提供や保育の楽しさなどを伝える「保育フォーラム」の開催などの事業を進めているなど自組織の特色的な事業について紹介。

次に当会から、部会の概要、大阪しあわせネットワーク、スマイルサポーターの取り組みについて説明。その後、県協議会の質問に答える形で意見交換会が行われました。以下はその内容です。

Q より多くの施設に大阪しあわせネットワークへ協力してもらうために、どのような働きかけをしましたか。また、スマイルサポーターの活動を促進するためには何をしていますか。

A 部長と地域貢献推進委員会委員長が各ブロックに出向き、直接協力を呼びか

けました。

現在、各ブロック単位でスマイルサポーターとCSWが一緒に研修を行っています。お互いの専門性を理解しあうことで、つながりを作っています。

また、今後は他種別施設との連携が必要になってきます。スムーズな連携を取るためにも、市町村単位でさまざまな種別施設が集まることのできる施設連絡会、地域貢献委員会の立ちあげが不可欠です。

Q スマイルサポーターは保育士・保育教諭が担っているのですか。

A スマイルサポーターを専任で配置することは難しく、保育士・保育教諭が兼任でさまざまな相談に応じ

ています。関係機関との連携などを行う際は、役割分担をし、施設長自身が動く必要があります。

Q 生活困窮者から、電話などで施設に直接相談が来ることはありますか。

A 現在、子育ての相談以外で直接相談にえられる方はほとんどありません。しかし、スマイルサポーターが保護者との日常会話や、子育て相談の中から「子育ての悩みだけではないかも」生活全般に問題・課題があるのでは」といった気づきを得られることもあります。異変に気づくことができることで、例えば生活困窮などの要支援者の発見にもつながると思います。

このことはありますか。

県協議会の参加者から「種別を超え、大阪府内の多くの社会福祉法人が連携し、大きなセーフティネットを構築していることに大変関心をもった」「事業の概要、歴史を聞き、府内の法人の積極性に驚いた」「今回学ばせていただいたことを群馬でも精査し、社会福祉法人の本質が成せるよう活動に起こしていきたいと思います」との感想が述べられました。(事務局)

平成28年度より

「5日間の夢体験—高校生のための保育の職業体験事業」スタート!!

この事業は大阪府社会福祉協議会・福祉人材支援センターと保育部会が連携し、高校生を対象に夏休み期間を利用して保育園・認定こども園で保育の職業体験をするプログラムです。

この職業体験を通して、保育の仕事の楽しさや、やりがいを知ること、専門職としての保育者への道をサポートすることを目的としています。将来の進路を決める重要な高校生の時期、

近日中に各地域の高等学校に受入事業所一覧を発送します。たくさんの方の高校生に体験してもらうためにも、近隣の高校への本事業の活用呼びかけのご協力をお願いいたします。(事務局)

赤い羽根OSAKA

共同募金配分申請のご案内

平成28年(平成29年度事業対象)

大阪府共同募金会では、大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体に対する配分申請を受付けます。

申請書受付期間

●平成28年5月2日(月)～5月20日(金)まで
詳しくは4月1日から掲載の大阪府共同募金会ホームページを参照ください

問い合わせ先

●大阪府共同募金会

TEL.06-6762-8717 FAX.06-6762-8718

MAIL ● ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

(件名に「配分申請について」と明記してください)

URL ● http://www.akaihane-osaka.or.jp

赤い羽根おおさか

検索

楽しみながらいろいろ経験

思いやり、生きる力を培う

門真市

保育所
ちどり
智鳥保育園

取材日は、英語の先生が来られていて、5歳児が自分の名前を英語でハキハキと言っている姿や、英語で先生とやりとりする姿を見ることができました。



他園とのサッカー試合 真剣です

智 鳥保育園は昭和54年4月に開園、定員180人。門真市のなみはやドーム近くにあります。「思いやりと生きる力を養う」基本的生活習慣になれ、自立させる」「一人ひとりを大切にし、のびのび育てる」「各種の体験と教育を積極的に行う」「家庭との連携をはかりともに育む」が保育方針です。



お茶の作法も身につきます

開園当初から茶道の先生を招き、月3回、4、5歳児が園長のご自宅でお茶を楽しむという経験をしています。年度末には保護者も一緒にお茶をいただいています。茶道を通じて、靴を揃える、敷居を踏まない、と

このほか開園から続けているものに、他市園児とのサッカーの試合があります。体育指導でサッカーの指導を受け、その成果を試すためや、他園の子どもの交流をはかるために毎年行っています。今年度は4年ぶりに勝利し、子どもも保育士も大喜びだったとのこと

です。

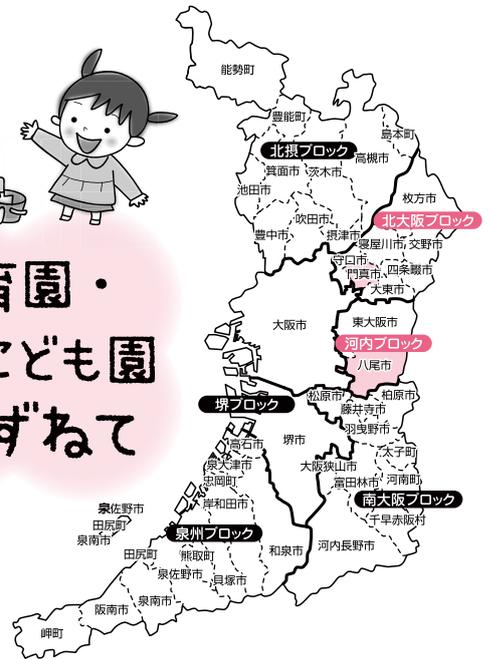
「いろいろな経験を保育園で楽しむ中で、思いやりや生きる力が自然に身に付いていけばと思っっています」と、開園から毎朝夕、子どもたちとあいさつされている濱田智園長は笑顔で話されました。

(編集委員A・O)



保育園・認定こども園をたずねて

535



あひる保育園園舎

今 年創立37年を迎える「あひる保育園」は近鉄大阪線高安駅から徒歩15分。春には玉串川の桜並木で花見、日々の散歩は八尾木公園へ徒歩数分と、四季の移り変わりを肌で感じられる恵まれた環境にあります。

「たのしくてたまらない保育園」にする保育方針と「①進んでやる子②仲良く明るい子③強い子」という目標にもとづいて子どもたち一人ひとりの可能性を引き出せるよう、職員全員が心を一つにして保育に取り組んでいます。

また、菜園ではきゅうりやじゃがいも、大根などを栽培、収穫することによる食育を推進。丈夫な体づくりのための薄着習慣と裸足の取り組みなど、心と体のバランスに配慮しています。

その一つにさまざまな経験や体験、発見が成長につながるよう「音楽指導・体育指導・絵画指導・ECC」など外部力の活用をすすめ、子どもたちの成長した姿を保護者と一緒に確認される機会を設けておられます。



いろんなことに積極的にチャレンジ!

また、菜園ではきゅうりやじゃがいも、大根などを栽培、収穫することによる「充足感・幸福感で満たされた時間・空間」として過ごせるそんな保育園であり続けたい」と藤井一理事長は熱く語られました。

(編集委員S・S)

主体は子どもたち

外部力との協働

保育所

八尾市

あひる保育園

日々、積極的な保育の 充実に

子どもたちと一緒に楽しむ

河内長野市

保育所
しおのみや
汐の宮保育園

保育目標の一つに「ゆったりとした環境のもとで情緒の安定を図り、ひとりひとりを大切にしよう」とあるように「家庭的な環境が保育園の魅力であり、保

今年度は、新たな行事の一つとして、5歳児クラスのお泊まり保育を実施。カレーを作ったり、プールで遊んだりと楽しい一日を過ごしたそうです。



全面改修された保育園外観

(編集委員 Y・K)

汐の宮保育園は、公立の宮保育園は、公立民営化により平成26年度から、たこう福祉会が定員90人で運営されている保育園です。現在99人の園児が在籍し、取材に訪れた日も元気なあいさつと素敵な笑顔の子どもたちの姿が見られました。



みんなで水遊び楽しいね！

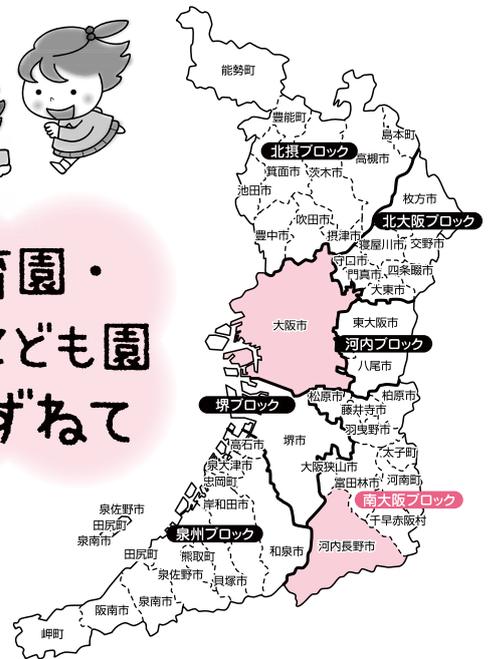
がけ、今では保護者からの声かけも増え、育児相談も多いそうです。

日々の保育では、乳児担当制や縦割り保育の導入など今までの保育方法も取り入れる一方、劇遊びや園外保育の充実など保育士が取り組んでみたい保育にも積極的に取り組み、子どもたちが一層、保育の楽しさを味わえる機会を大切にしていきます。



保育園・
認定こども園
をたずねて

536



園は大きな家でありたい」「子どもたちがのびのびと過ごす中で、生活に必要なあいさつや約束事などを身につけて、小学校へ進学してほしい」と井谷園長は話されました。

ひばり保育園は、地下鉄玉川駅から徒歩7

分ほどの閑静な住宅街の中にあります。平成16年に設立され定員は150人です。本園は保育者が看護の知識をもつことを大切にしていきます。「保育者が看護の知識を深めることで、子どもを抱っこした時の感覚、咳の種類の、目の雰囲気など、身体の変化にいち早く気がつくことができます」と角上美恵子園長は話されました。また、本園では、保健師、看護師などが在籍、各専門職がそれぞれの視点で子どもの育ちを見守っています。

また、地域の子育て家庭への支援にも力を入れておられます。在園児の保護者を対象とした講座だけではなく、地域への支援の一環として保健師が、地域住民や企業から依頼を受け「夫婦での子育て」「男性の育児参加」などについての出張講座も行っています。「一時的なアドバイスでは解決に

つながりにくいのが、保育園が地域福祉の拠点となることで継続的な支援ができる」と保健師の阿川勇太先生は話されました。



ひばり保育園外観



笑顔のあふれる園内講座

「地域のセーフティネットとしての役割を担いたい。そのためには、さまざまな専門職を配置し人材を揃えることが地域福祉の拠点としての強みになる」と角上園長は語っておられました。(事務局)

地域のセーフティネットとしての役割を担う

それぞれの視点で見守る

大阪市

保育所

ひばり保育園



シリーズ●より良い保育士養成のために 養成校教員としての想い

南海福祉専門学校 北村 博文
児童福祉科

今月号からは、南海福祉専門学校
の教員の方々にご執筆
いただきます。

「今どきの学生さんは
……」と実習先や就職先か
らたくさん指摘をいた
だきます。
一人の教員として38年間、
学生との関わりの中で、最
近、とくに感動した「アル
バイト部門」「実習部門」「ボ
ランティア部門」について
お話ししたいと思います。

継続は力なり

まずは、「アルバイト部
門」においては、保育園で
の土曜日限定の保育補助の
アルバイトです。校内でア
ルバイトの説明をした時
は、10人以上の学生が集
まってくれましたが、その
後5人の学生で開始されま
した。
このアルバイトに参加し
た学生は学校行事以外全て
参加し、約1年間やり通しま
した。途中から2人に減りま
したが責任をもって最後まで
やりきってくれたことが
とてもうれしかったです。
また、地域小規模児童養
護施設においても、宿直ア
ルバイトを3人の学生で月
に10回程度行っています

た。小学生、中学生、高校
生との人間関係を築きなが
ら、朝食の準備も行い、平
日は、学業に差し支えのな
いように本校に登校しなけ
ればなりません。「継続は力
なり」といわれるように、
その学生の内なるものに、
「責任感」「根性」を発見し
ました。

また、途中で辞めること
なく1年近く続け、その施
設に就職した学生もいま
す。「打たれ弱い」「すぐあ
きらめる」「覇気が感じられ
ない」などといわれていま
すが、いまの学生、そう捨
てたもんじゃありません。

新たな気づきと 認識の変化

「実習部門」では、本校は
保育士資格の養成校として
創立されましたが、創立以
来、障がい教育に力を入れ
てきました。近年は短期大
学との連携により、保育士
資格・幼稚園教諭免許と社
会福祉主任任用資格が取得
できるようになりました。
そのなかで、障がい児
(者)施設での実習に参加し
た学生が、実習前に、障が

い児(者)についてあまり
関わりもなく、すずんで実
習に行く学生も少ない状況
下で、ましてやそのような
施設に就職は全く考えてい
ませんでした。

しかし実習後には、障が
い児(者)に対する認識が
変わり、施設への就職を希
望するようになりました。
実習記録の感想の中にも、
「心通い合う体験ができて
良かった」「心が純粹」「町
で出会っても、普通に話し
かけられるようになった」
など、人との関わり方につ
いて新たな気づきがあった
ようです。

障がいに対する偏見がな
くなり、その施設で働きた
いという思いが強くなった
という感想に、非常に私自
身感動いたしました。

「今どきの学生、やるじゃ
ないか」「理屈でなく、体で
理解してくれた」「学校の理
念が少し伝わったな」と
思っております。



このように成果の上があ
った実習の陰には、施設の先
生方の温かいご指導があり
ました。実習の初日には「も
う帰りたい」「利用者の人が
こわい」など、ショックを
受けた学生もいますが、そ
のような時でも、優しく実
習生の気持ちを受け止めて
くださり、何とか実習を続
けることができ、徐々に学
生が障がいについて受け入
れることができ、最後には
働いてみたいと思うように
なりました。

人のために役立ち たいという気持ち

最後に「ボランティア部
門」ですが、「子育て支援」
講座を本校の職員で行った
時、学生にボランティア募
集をしたところ大勢の学生
が集まり、当日は人形劇を
してくれたり、子どもの遊
び相手をしてくれたりと大
活躍でした。

ボランティアに参加した
学生からは、普段できない
体験を実践できたと喜んで
くれ、「また、やりたい」と
言ってくれました。
そこには教員と学生との

信頼関係があったとは思
いますが、それ以上に、学生
の「子どもと遊びたい」「人
のために何か役に立ちたい」
「子育て支援でされてい
ることが知りたい」などの
気持ちがありました。
また、実習先からも、運動
会・発表会などのボランティ
アのお誘いをいただき、その
体験を通し就職させていた
だいた学生もいます。
「熱い思い」大切に
見守り育てたい
養成校の職員として、学
生の身体の中を流れている
「熱い思い」を感じていま
す。ただ、そのことを表現
できなかったり、出すタイ
ミングを間違ったりして、
相手に対して良い印象を
もってもらえない場合も
多々あるように見受けられ
ます。コミュニケーション
能力が十分育っていないの
だと思えます。
最近そのような不器用な
学生が増えてきています
が、教員として、学生と施
設職員の間に入り、何とか
良好な関係が築けるように
日々奮闘しています。

北大阪

信頼関係が生まれてくる実技研修

1月19日、交野市立ゆうゆうセンターで保育士実技研修会が開催され97人が参加しました。神奈川県茅ヶ崎市にある社会福祉法人ひまわり園・ひまわり愛児園

理事長、三橋貴文氏を招きご講演いただきました。

楽しさを体験し、居心地の良い環境を作り、自分を守ろうとする心の壁を解き、

相手を受け入れることで、相手の立場に立つて物事を

考えられるようになる。そうすれば自然と信頼関係が

生まれてくるという研修内容でした。

定こども園の認可届けを作成。3月31日保育園の廃止届けと、翌日からの

幼保連携型認定こども園の承認届けが届きました。

その前に、こども園になることの保護者説明会

4月からは、認定こども園の業務です。まず、銀行預金口座の名称変更、

園児が行く学校に要録を送りましたが、認定こども園は小学校に行くときは、もちろん要録を送りますが、幼稚園、認定こども園に転園するときも園に転園するときも園が学校なので要録を送ります。

保育所に転園するときは送りません。それだけ学校の位置づけが社会に認められていて感じています。

たいへんなのは一時です。すぐ慣れます。認定こども園への移行を再度考えてはいかがですか。(こども園くさべH・I)

また、すべての園児から、契約できたことの役割所の報告。4月1日こ

所は小学校にあがるとき、

利用料(保育料)の徴収事務、滞納者への対応が加わりました。

この一年を思い起こすと大変でしたが、認定こども園は学校です。保育所は小学校にあがるとき、



ピッタリ息を合わせます

ました。自己紹介ではニックネームで呼び合うことでより一層親しみやすさを感じる事ができ、頭にもスツと入ってきて覚えやすいと思いました。

一つのゲームでもさまざま

まな遊び方があり、とても

楽しめました。子どもたち

も楽しめると思っています。

ゲームが進み残り少なくな

なっていくとグループにな

った人たちと自然に会話

ができるようになっていま

ました。自己紹介ではニッ

クネームで呼び合うことで

より一層親しみやすさを感じ

ることができ、頭にもスツ

と入ってきて覚えやすい

と思いました。

した。

最後は参加者が全員で手をつなぎ立ち上がるゲーム。

少人数でも難しいものを一回でクリアできて思わず

拍手が。まさに信頼関係があ

ったからできたと思います。

ゲームを通して得たものは大きいと思

いました。

実技研修1つらいと思

がちですが、たまには体を

動かしてリフレッシュする

ことも必要だと思

います。(暖アサヒヶ丘保育園T・N)

河内

ピラミッドメソッドから学ぶ

2月17日シエラトン都ホテル大阪で、河内ブロック(八尾市・東大阪市)合同研修会を開催。子どもと育ち総合研究所所長の宮野亮氏を講師に招き、「世界一子どもが幸福な国・オランダの教育法『ピラミッドメソッド』から学ぶ」と題した研修を行いました。

ピラミッドメソッドは、

1994年にオランダ政府

教育機構Citoによって

作られた幼児教育法でオランダ政府が推奨し、多くの

保育園で取り入れられました。子どもに寄り添い、安心感が満たされてこそ学ぶ

意欲が育つことを最も大切に

にし、子どもの生活体験に

根ざした「遊び」を中心に

して学ぶ新しいスタイルが

取り入れられています。

ピアジェやモンテッソー

リなど、さまざまな教育理

論をベースに整理された幼

児教育で子どもの遊ぶ(学

ぶ)意欲を引き出すための

保育環境づくりや保育内容

が特徴的。テーマ性をもつ

「プロジェクト」という保育

活動を提唱しています。

幼児期は主体的にやってみ

たい・知りたい・面白いと心が動くことで、自然に遊びと学びがつながること。また、実際の現場のようす、写真を見ながら環境構成の仕方、保育者への配慮、子どもに与える影響など一つひとつわかりやすく説明。子どもが自主的に判断し、自然に活動しているという空気感と、保育者がつかず離れずの距離を作り出す愛情ある秩序感は、私たち子どもと関わる者として共感でき、とても参考になりました。(編集委員T・Y)

さんぽ



幼保連携型認定こども園になって一年が経過しました。昨年の10月頃に幼保連携型認定こども園になることを決定し、その準備にかかりました。まず役所からの意向調査、そのときは、保育園の名前のまま移行するつもりでしたが、他の園を見ると、こども園に名称変更しているところが半数以上。

びっくりして名前の変更を検討し、くさべ保育園からこども園くさべに変更。その後、保育所の廃止届け、幼保連携型認

こども園になって一年

堺ブロック

の開催、契約書を作成し、新入園児だけでなく、今いる園児から書面による契約。

また、すべての園児から、契約できたことの役割所の報告。4月1日こ

利用料(保育料)の徴収事務、滞納者への対応が加わりました。この一年を思い起こすと大変でしたが、認定こども園は学校です。保育所は小学校にあがるとき、